

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ONEPLAY.GIFTED宜野湾		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和7年5月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和7年5月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和7年5月1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	計画書に沿って訪問先での関わりを行い、訪問先が主体となった形での助言等を行っているとします。	アセスメントから支援計画書を深く作成し、その視点を訪問先へも共有を図りながら、課題解決に向けて取り組んでいると思われれます。	現在、人員体制が少ないため対応できるスタッフの育成を図り、地域貢献を図っていく必要がある。
2	専門職がいる事業でスタッフ間の連携も取れているので、訪問したスタッフから報告等から他の意見なども得られて、より深い支援が検討されているとします。	朝礼や終礼等でその日の予定や振り返りを行う時間を設けて、対象となる利用者の話ができる環境作りを行っています。	現在のスタイルを維持しながらも、事業所内にとどまらず関連機関への報告や相談等も行っていく必要がある。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在、担当するスタッフが少ないため人材の育成が必要。	事業所内で通所事業(児童発達支援)もあるため、その部分への人員の配置もあるため。	新たなスタッフの補充と、既存スタッフの育成が必要。
2	訪問事業専用の社用車が用意できていないため、その確保が必要。	開設時から訪問事業の件数が伸び悩んでいたこともあり、通所事業への比重が大きくなってきたことも要因と考える。	保育所等訪問支援の認知度の向上も図りながら、保護者様や訪問先側への理解を高めていく必要がある。
3			